

毎日の生活に ちいさな 「わくわくのたね」を…



オンライン交流会



写真はイメージです

作成するタッセルはシングルタイプになります

～首都圏の避難者さんとオンラインで繋がり

関川 木の糸しなもっこでタッセルを作ろう～

日時：2月10日（土）10：00～12：00（予定）
会場：「ここふく@やまがた」事務所（NPO 法人アミル内）
山形市双葉町 2-4-38 双葉中央ビル 3階

※当日は Zoom を使いオンライン交流会を行う予定です。ご自宅からオンラインで参加可能な方は、材料キットを事前にお渡ししますので、ご自宅からの参加でも大丈夫です。後日、Zoom の ID とパスワードをお伝えします。

講師：富樫シゲトモ氏

対象者：東日本大震災により福島県から避難している方

参加料：無料

定員：5名程度 ※申込締切日：1月24日（水）

持ち物：特にありませんが事前申込みが必要です

しなもっこ
とは・・・

山形県温海地域の山間部に位置する関川地区。ここでは古くから日本三大古代布の一つである「しな織」が継承されており、国の伝統工芸品にも指定されています。しな織は、もともとは魚をとるための漁網であったり、お米を運ぶ袋であったりと生活に欠かせない必需品として重宝されていました。工程の中で糸と糸をつなぎ、長い1本の糸にする「しな績（う）み」があります。そのなかで出てくる糸になりきれなかった部分を地元では「しなもっこ」と呼んでいます。ほとんど利用されないしな素材ですが、独特のやわらかな風合いが魅力的です。

☆お問合せはこちらまで☆

「ここふく@やまがた」相談支援室
（NPO 法人アミル内）

TEL 023-674-0606 FAX 023-674-0808 ✉ soudan@amill.org

わくわくの たねの会



とは…?

山形市にある「ここふく@やまがた」相談支援室が始めた避難なさっている方たちのための交流の場です。

今年度はいろいろな地域を訪問し交流会を開催したり、オンラインで山形県以外の避難者さんとも繋がり交流する予定です。

みなさんの毎日の暮らしが少しでも楽しくなるように小さな「わくわくのたね」をお渡ししたい！という気持ちを込めて「わくわくのたねの会」という名前にしました。



今回は、東京の医療ネットワーク支援センターさんと yama_colon labo さんと連携して、山形県を飛び越えて県外にお住まいの避難者さんとオンライン交流会を行いたいと思います！

講師は山形から、しな織製品づくりを手掛け文化の継承に励んでいる富樫シゲトモ氏を迎え、木の皮しなもっこのタッセルをみんなで制作します♪

参加ご希望の方は、「ここふく@やまがた」へお越し下さい。事務所のパソコンを使い参加しますので、操作などの心配はいりません。

また、ご自宅からの参加も可能ですので、みんなで交流しながら自分だけのしなもっこのタッセルを一緒に作ってみませんか？

ご参加お待ちしております！



「ここふく@やまがた」では、必要に応じて手指消毒を行っております。ご協力をお願いいたします。

また、体調のすぐれない方のご参加はご遠慮くださいますよう、お願い申し上げます。